

第3回(12月)「日本との文化の違い」

石井夏月

第3回目の研修員だよりでは、実際に雲南にきて感じた文化の違いを紹介していきます！



雲南にきてまず感じたことは交通手段がとても豊かだということです。バスやタクシー、地下鉄、車に加え電動バイク、電動自転車等様々な手段があります。電動自転車は特別な免許は必要ないため、私のような留学生でも普段から使うことができます。

左の写真は、道端に置かれている電動自転車です。車体にあるQRコードを読み取ってロックを解除すればすぐに乗ることができます。乗った時間によって金額は変動します。



基本的に歩道には多くのバイクが止められています！このような感じで電動自転車も止めてあるので乗りたいところから乗って、降りたいところで降りることができます！



車道の右側には二輪車専用のレーンがあります。バイク、電動自転車、自転車などの二輪車がこのレーンを走っています。中国では日本とは逆で右側通行ですが、驚くことに右折時は信号関係なく曲がることができてしまいます！！信号待ちをしているとき右側によってしまうと後ろからクラクションを鳴らされてしまうため注意が必要です。

雲南の食文化についても少し紹介します！



この料理は柴火鸡（チャイフオージー）という料理です。この料理自体は雲南省以外でも食べることができますが、雲南の料理の特徴はなんでも辛いということです！四川省と近いため、やはり辛い味付けの料理がほとんどです。お店の方に頼めばピリ辛で作ってもらえますが、それでも辛いと感じることが多いので、辛いのが苦手な方は辛いのを全く入れないように頼む方がいいかもしれません！

この料理は米线（ビーフン）という麺料理です。料理名の漢字からわかるように、麺の原材料はお米です。どこの道を歩いても見かけないことがないほど雲南ではメジャーな料理です。スープがあるタイプもあれば、スープなしで混ぜて食べるタイプもあります。お店によって味付けも全く異なるので、お店を色々回って自分好みの米线を探すのも楽しいです。

